

New

軽度認知障害

MCIプラス  
スクリーニング検査



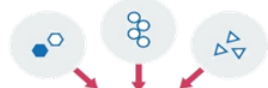
~40代から受検可能です~

一回の採血でMCI（軽度認知障害）のリスクがわかる  
MCIスクリーニング検査が生まれ変わりました！

今までのMCIスクリーニング検査

アミロイドβの毒性を防御/排出

脂質代謝系 タンパク質  
免疫系 タンパク質  
栄養系 タンパク質



アミロイドβの蓄積

アルツハイマー型認知症の  
発症原因物質の蓄積に  
関わるタンパク質を測定

+

プラス

New

血管のダメージを防ぐ

凝固線溶系  
タンパク質

脂質代謝系  
タンパク質



損傷

炎症に関与

炎症・免疫系  
タンパク質



炎症

発症原因物質が蓄積する要因となる  
脳血管の老化に関連するタンパク質を測定

MCIプラス  
スクリーニング検査



アルツハイマー型認知症の発症は「脳への老廃物(アミロイドβ)の蓄積」が原因とされています。  
MCIスクリーニング検査プラスではその老廃物の蓄積だけでなく、その老廃物が蓄積される要因となる  
血管の老化に関与するタンパク質を測定し、より早期段階からMCIのリスクを評価します。

## 新検査の特徴

- ① 血管の老化に関わるタンパク質が新たに測定項目にプラス、よりご自身の生活習慣に関連したリスクも評価！  
それにより40歳~受けれる検査となりました！

こんな方にオススメです



血圧・血糖値が高め



ストレスを感じる



運動不足



睡眠不足



食生活の乱れ

このような生活習慣をお持ちの方は認知症にかかるリスクが高くなります

- ② 検査結果がより分かりやすいようリニューアル！！

4段階の総合評価にプラスして「栄養群」、「脂質代謝群」、「炎症・免疫群」、「凝固線溶群」の  
4つのカテゴリーをリスクレベルが新たに表記されるようになりました。

- ★ 40歳以上の方におすすめしています。
- ★ 検査価格 23,650円 (税込) です。
- ★ 自己免疫性疾患や急性炎症、肝硬変、先天的脂質異常の方は検査結果の数値に影響が出る場合があります。



健康ももちゃん

公益財団法人福島県保健衛生協会  
総合健診センター

TEL024-546-3533  
FAX024-539-7853

# 検査受診後について

## ▶ 検査結果報告書も大幅にリニューアル！

判定結果はリスクに応じてA～Dの4段階。

4つのカテゴリーを良好・注意・要注意の3段階で評価します。

テスト ハナコ 様 MCIスクリーニング検査プラス 結果報告書

### リスク評価

あなたのMCIリスク値 **0.47**

前年度: 0.68 前々年度: 1.01

【A評価】

将来のMCIのリスクはほぼありません。今後も健康な日常生活を心がけましょう。

リスク	評価	リスク値	説明
低 ↓ 中 ↓ 高	A	0.00～0.50	現在の生活習慣を継続し、健康な日常生活を心がけましょう。ご自身の状態を定期的に把握して予防に努めましょう。
	B	0.51～1.00	健康的な生活を継続的に習慣化することで、MCIのリスクを抑えることができます。予防は早く取り組みほど効果的なので、引き続き予防に努めましょう。
	C	1.01～1.50	【中年期の方】現在の生活習慣を見直すきっかけと捉え、予防に取り組み、健康的な日常生活を心がけることが大切です。 【高齢の方】生活習慣を見直し、速히に予防に取り組みましょう。物忘れが気になる方は専門医に診てもらいましょう。
	D	1.51～2.00	【中年期の方】このままの生活習慣が続くと将来のMCIのリスクが高まります。日常生活を見直し、予防に取り組みましょう。 【高齢の方】専門医による詳細な検査を受け、適切な予防を受けられることをおすすめします。

※高齢の方は一般的に0.5以上の値を指します。

当検査ではアルツハイマー型認知症の発症に関わるタンパク質の量を測定することでMCIのリスクを判定しています。またそのタンパク質を4つのカテゴリーに分けてリスクレベルを表しています。

### 4つのカテゴリーにおけるあなたのリスクレベル

カテゴリー	リスクレベル
栄養	3.2
脂質代謝	4.3
炎症・免疫	2.0
アミロイドβ	3.0

検査を終えて

MCIや認知症の予防は生活習慣の見直しから大切だとされています。同時に「認知症予防マニュアル」や「認知症予防習慣」を参考に予防に取り組みましょう。次回は2022年の6月頃を目安に検査を受けましょう。

### 測定しているタンパク質について

アルツハイマー型認知症発症の最大のリスクは加齢であり、また生活習慣の乱れも大きく影響するといわれています。老化や生活習慣の乱れが原因で脳内の「血管」がダメージを受け損傷すると、「炎症」が引き起こされ、血管の弾力性が低下します。それにより主な原因の一つといわれているアミロイドβ（以下Aβ）が蓄積します。MCIスクリーニング検査プラスでは、これらの病態に関わるタンパク質の量を測定し、MCIのリスクを判定しています。

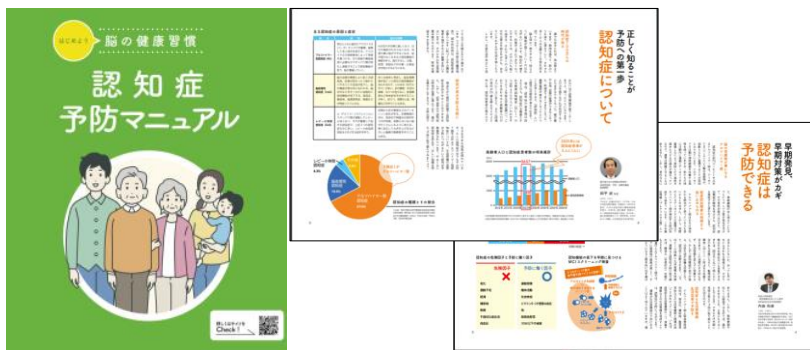
カテゴリー	説明
栄養	体の栄養状態を反映するタンパク質の量を測定しています。これはあまたの中のアβを排除したり、毒性を低減する機能があります。体をつくるタンパク質や体の調子を整えるビタミン・ミネラル、エネルギー源となる糖質や脂質をバランスよくとることが大切です。 【中年期の方】バランスの良い食事を心がけることで、免疫・高血圧・血管が強く柔軟になります。その結果、脳の健康状態は保たれ、認知症予防につながります。 【高齢の方】「小食・粗食」傾向が強い方が、食事不足によって栄養不足が多くなります。慢性的に栄養不足になると、認知症のリスクが高まるといわれています。
脂質代謝	体の脂質代謝の状態を反映するタンパク質の量を測定しています。これはあまたの中での健康を保つのもや、Aβの排出を助ける働きがあります。食事から取り入れた脂質はエネルギーやホルモン、ビタミンの原料としても体の中で利用されています。適度な脂質を摂取することは認知症予防につながります。 【中年期の方】生活のストレスを通して生活習慣の改善を行うと、血管は柔らかく、血液がスムーズに流れるようになります。その結果、認知症予防につながります。 【高齢の方】適度なカロリー制限をすることで、栄養のバランスが崩れやすくなるため、バランスの良い食生活を心がけることが大切です。
炎症・免疫	体の免疫状態を反映するタンパク質と体の免疫力の主役となるタンパク質の量を測定しています。これはあまたの中のアβを排除する役割を担う細胞や免疫機能を担う細胞と共に脳内に健康に保つ機能があります。規則正しい生活習慣を心がけることが大切です。 【中年期の方】食事や睡眠といった身近な習慣を見直し、運動を取り入れるなど規則正しい生活習慣を身に付けて、健康管理に努めることが大切です。 【高齢の方】年齢をかさねることにより、炎症が起こりやすくなったり、免疫機能が低下しやすくなります。バランスの良い食事と適度な運動に加え、十分な睡眠とストレスのない生活を心がけることが大切です。
アミロイドβ	あまたの中での血管損傷を防いだり、固まった血液を溶かす働きをする凝固経路に関わるタンパク質の量を測定しています。これはあまたの中での血管損傷部位を修復したり、血液を溜まりにくくし、血管のつまりを解消する働きがあります。血管を健康状態に保つことはあまたの中を健康に保つことにつながり、認知症予防につながります。 【中年期の方】食事・運動・睡眠・適度な飲酒など生活習慣の改善を行い、健康管理に努めることが認知症予防につながります。生活習慣などに関する基礎疾患をお持ちの方はその治療を行うことが大切です。

## ▶ 認知症予防方法

受診者全員に、認知症予防マニュアル(冊子)をお渡ししています。

また、「認知症予防習慣」WEBサイトでも予防方法を定期発信しています。

### <冊子>



### <WEBサイト>



## ▶ 検査を受けて

生活習慣の乱れや加齢により、MCIや認知症のリスクは自然と高まります。検査を受けて今の状態を知り、検査結果をヒントに生活習慣を改善し、MCI・認知症予防に取り組みましょう！



検査についての詳細はこちら



URL : <https://mci-plus.com>